



令和二年度

第一回理事会・定時評議員会を
書面により開催

今年度の第一回理事会は四月二十八日、定時評議員会は五月一三日に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、出席者の安全を最優先し、書面による決議としました。

理事会は、提案したすべての案件について、全理事の同意と全監事から異議なしの回答が得られ、五月八日付けで決議があったものとみなされました。

評議員会についても、すべての案件に対し、全評議員から同意が得られ、五月二七日付けで決議があったものとみなされました。

◆理事会

【承認事項】

- ①令和元年度事業の概要報告
- ②令和元年度会計決算承認
- ③役員等の候補者の推薦

【協議事項】

- ①今年度事業の実施について
- ②職員給与等の見直しについて

◆評議員会

【決議事項】

- ①令和元年度事業の概要報告
- ②令和元年度会計決算承認
- ③役員等の選任

【報告事項】

- ①令和二年度事業計画・収支予算
- ②今年度事業の実施について

その結果、協会主催の今年度事業について、次のとおり決定しました。

- (1) 第七三回秋田県消防大会（鹿角市）は、一年延期する。
- (2) 第五七回秋田県消防操法大会は、中止する。
- (3) 第九三回殉職消防職団員慰霊祭は中止とし、協会関係者が出席して神事を行う。
- (4) 全県団長研修会、女性消防団ネットワーク会議、若手消防団員活性化推進会議は、後日検討する。

題 字
初代会長 松野 盛 吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋 田 県 消 防 協 会
会 長 高 橋 正 尚
電 話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電 話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

一般財団法人秋田県消防協会 理事・監事・評議員

【理 事】

(令和2年6月5日現在)

役 職	氏 名	所属・階級等
会 長	高 橋 正 尚	美郷町消防団 団長
副 会 長	周 防 彦 宗	由利本荘市消防団 団長
"	菊 池 二 郎	横手市消防団 団長
"	内 田 清 隆	鹿角市消防団 団長
理 事	佐 藤 和 彦	秋田県総務部総合防災課 課長
"	齋 藤 勉	大館市消防団 団長
"	大 島 昌 良	秋田市消防団 団長
"	渡 邊 正 人	能代市消防団 団長
"	遠 間 富 和	井川町消防団 団長
"	佐 藤 孝 吉	湯沢市消防団 団長
"	工 藤 琢 磨	秋田市消防本部 消防長
"	佐 藤 広 樹	大曲仙北広域市町村圏組合 消防本部 消防長
"	佐 藤 浩 司	能代山本広域市町村圏組合 消防本部 消防長
業務執行理事	佐 藤 功	秋田県消防協会 事務局長

【評議員】

(令和2年5月27日現在)

役 職	氏 名	関係する消防機関
評 議員	澤 口 紀 夫	小坂町消防団
"	青 澤 尚 人	鹿角市消防団
"	戸 島 丈 夫	北秋田市消防団
"	長 岐 篤 市	北秋田市消防本部
"	石 井 義 則	三種町消防団
"	本 多 健	八峰町消防団
"	伊 藤 孝 年	藤里町消防団
"	吉 田 陽 一	男鹿市消防団
"	小 玉 多智美	五城目町消防団
"	齊 藤 一	八郎潟町消防団
"	松 橋 稔	大潟村消防団
"	上 野 綱 一	秋田市消防団
"	永 澤 靖 雄	秋田市消防団
"	佐々木 伸 一	にかほ市消防団
"	佐々木 勝 美	由利本荘市消防団
"	佐 藤 剛	由利本荘市消防本部
"	佐 藤 一	大仙市消防団
"	渡 辺 勇 悦	仙北市消防団
"	菅 原 一太郎	横手市消防団
"	高 橋 良 則	横手市消防団
"	武 田 継 夫	羽後町消防団
"	近 野 仁	湯沢市消防団
"	杉 山 暁 人	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

【監 事】

役 職	氏 名	所属・階級等
監 事	武 石 聡	上小阿仁村消防団 団長
"	高 橋 寛 儀	潟上市消防団 団長
"	鈴 木 修	東成瀬村消防団 団長

令和元年度決算〔正味財産増減計算書〕

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目 (Item), 当年度 (Current Year), 前年度 (Previous Year), 増減 (Increase/Decrease). Rows include 経常収益計, 経常費用計, 当期経常増減額, etc.

令和二年春の叙勲・褒章
第三四回危険業務従事者叙勲

令和二年春の叙勲・褒章及び第三四回危険業務従事者叙勲の受賞者が発表され、本県の消防関係では叙勲二三名、褒章二名、危険業務従事者叙勲八名の方が受賞されました。誠にありがとうございます。(記載は五十音順)

令和二年春の叙勲

- ◆瑞宝小綬章(一名) 元秋田市消防本部 消防正監 加藤 哲実
◆瑞宝双光章(一名) 元潟上市消防団 団 長 伊藤 良勝
◆瑞宝単光章(二一名) 元大仙市消防団 副 団 長 明 平 茂 豊
元大館市消防団 副 団 長 浅 利 重 博
元秋田市消防団 副 団 長 足 利 幸 雄
元由利本荘市消防団 副 団 長 石 綿 喜代隆
元横手市十字字消防団 副 団 長 片 野 孝
元横手市横手消防団 副 団 長 加藤 一男

- 元三種町消防団 団 長 金子 忠 夫
元琴丘町消防団 分 団 長 工 藤 豊
元大仙市消防団 副 団 長 佐々木 茂
元大仙市消防団 副 団 長 煤 賀 隆 芳
元千畑町消防団 分 団 長 鈴 木 伊 佐 雄
元岩城町消防団 分 団 長 田 口 長 美
元羽後町消防団 分 団 長 武 田 徳 一
元仙北市消防団 分 団 長 辻 谷 公 雄
元鹿角市消防団 分 団 長 成 田 威
元湯沢市消防団 副 団 長 半 田 好 男
元横手市増田消防団 団 長 平良木 保
元仙北市消防団 団 長 藤 島 絹 雄
元北秋田市消防団 団 長 藤 田 久 悦
元八郎潟町消防団 団 長 渡 部 壽 一

元湯沢市消防団

分 団 長 渡 部 秀 悦

令和二年春の褒章

◆藍綬褒章(二名)

現大瀧村消防団

分 団 長 菊 地 克 浩

現八郎潟町消防団

分 団 長 渡 部 勝 則

第三回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(四名)

元由利本荘市消防本部

消 防 司 令 長 板 垣 義 紀

元横手市消防本部

消 防 司 令 長 小 野 松 治

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

消 防 司 令 長 佐 藤 辰 夫

元由利本荘市消防本部

消 防 司 令 長 三 浦 常 男

◆瑞宝単光章(四名)

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

消 防 司 令 長 熊 谷 宏 美

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

消 防 監 佐 藤 敏 彦

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

消 防 司 令 長 田 口 準 二

元秋田市消防本部

消 防 司 令 長 寺 山 香

新消防長紹介

【令和二年四月一日就任】



秋田市消防本部

工 藤 琢 磨



大館市消防本部

畠 山 一 則



北秋田市消防本部

長 岐 篤 市



能代山本広域市町村圏組合消防本部

佐 藤 浩 司



由利本荘市消防本部

佐 藤 剛



にかほ市消防本部

加 藤 十 二



大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

佐 藤 広 樹

新消防団長紹介

【令和二年四月一日就任】



鹿角市消防団

内 田 清 隆



三種町消防団

石 井 義 則



五城目町消防団

小 玉 多 智 美



大瀧村消防団

松 橋 稔



湯沢市消防団

佐 藤 孝 吉



羽後町消防団

武 田 継 夫

第七四期初任教育始まる

六二名が新たな一歩を踏み出す

秋田県消防学校

秋田県消防学校の初任教育第七四期が四月六日から始まりました。

四月一〇日の入校式は、新型コロナウイルスの影響で中止になりましたが、六二名の入校生は、寮で共同生活を送りながら、消防全般にわたる基礎的知識や技術の習得、厳正な規律、体力錬成などに真摯に取り組んでいます。

初任教育は、九月一八日まで行われ、警防隊員として活動できる能力を養成します。



秋田県消防学校 初任教育第74期 役員



初任教育第74期入校生名簿

秋田市消防本部

成 田 幸 介	星 野 大 地
石 田 捷	數 口 直 己
伊 藤 大 地	藤 原 佑 馬
石 井 遼 貴	小 玉 竜 也
相 原 翔 琉	鈴 木 柊 生
保 坂 陽々姫	越 中 朝 陽
加 藤 祥	

大館市消防本部

奥 村 甲	栗 山 翔 巨
横 渕 孝 太	木 立 さくら
山 田 琉 稀	

北秋田市消防本部

近 藤 伸 亮	佐 藤 麗 白
---------	---------

由利本荘市消防本部

田 口 奏	今 野 景 太
佐 藤 健 司	

にかほ市消防本部

小 林 大 理	
---------	--

横手市消防本部

五十嵐 駿 悟	仙北谷 将 平
---------	---------

鹿角広域行政組合消防本部

戸 川 颯 斗	石 坂 賢 太
---------	---------

能代山本広域市町村圏組合消防本部

安 井 晴 貴	後 藤 啓 吾
細 谷 風 太	伊 藤 尚 斗

湖東地区行政一部事務組合消防本部

菅 原 和 希	渡 部 颯 人
---------	---------

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

佐 藤 尚 人	加 藤 広 大
古 仲 公 平	高 森 憲 吾
三 浦 光 貴	渋 谷 隼 斗
大 塚 大 輔	本 川 翼
渡 部 初 音	安 田 夏 葵
三 浦 裕 也	山 方 大 斗
伊 藤 光輝人	阿波野 睦 紀

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

須 田 忠 厚	斉 藤 一 郎
佐 藤 孝 太 朗	佐 井 辰 徳
五十嵐 未 夢	藤 本 涼 雅
因 幡 航 希	佐々木 優 斗
小 西 将 太	鶴 岡 咲 栄
高 橋 麗 翔	

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

高 橋 大 輝	柴 田 英 寿
鎌 田 凌 嘉	

秋田県消防学校職員名簿

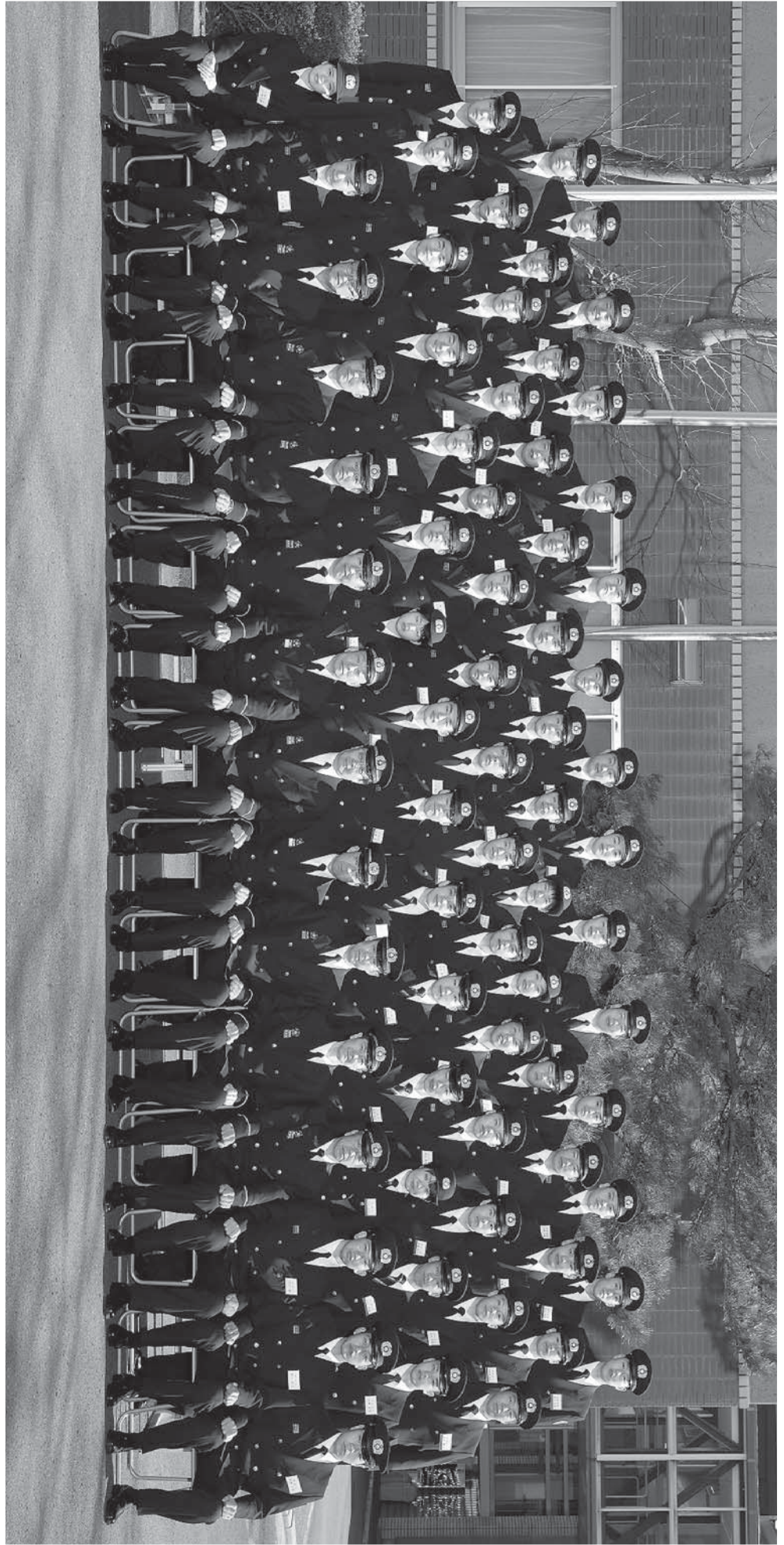
校 長	進 藤 隆 男
副 校 長	堀 井 正 人
副校長・班長	大 野 光 徳

総務班

副主幹・班長	齊 藤 英 則
主 査	手 塚 昇
主 事	木 村 菜 摘
技能主任	齋 藤 佳 人
舎 監	今 野 裕 徳
舎 監	高 橋 博
舎 監	吉 成 勉
防災学習館	佐々木 美 香
防災学習館	丸 山 恵 子
防災学習館	鈴 木 忠

教務班

副校長・班長	大 野 光 徳
副 主 幹	佐 藤 弘 尚
副 主 幹	畠 山 浩
副 主 幹	池 田 敏 英
副 主 幹	佐々木 直 樹
副 主 幹	畠 山 公 正
専 門 員	伊 藤 弥 真 彦
講 師	大 澤 善 樹



第七四期初任教育
一ヶ月を振り返って

秋田県消防学校



今野 景太
(由利本荘市消防本部)

この一ヶ月は主に消防職員としての基礎を学んだ。訓練では、今後使用する基本結索や三連梯子などを学んだ。座学は難しい授業や効果測定もあり、勉強しながら体力錬成を行い、訓練もありで大変だったが、半年間の初任教育で知識技術を身につけるためには、時間の使い方を工夫し、日々努力しなければならぬと感じた。

ゴールデンウィークが明けると応用に移る。基礎がしっかりできていないと、他の職員に遅れをとってしまう。池田教官が仰る「やらなければ忘れる」の通りで、予習復習をしっかり行わなければいけない。

私自身、生まれ育った由利本荘市に貢献したいという想いで消防職員を目指した。この初任教育で、市民の方々から信頼される消防職員となるためにも、必要な知識、技術、体力、人間性などを身につけるよう努めたい。辛いこともあると思うが、仲間とともに乗り越えていきたい。



星野 大地
(秋田市消防本部)

将来の夢であった消防士となり、希望をもってスタートを切りましたが、最初は不安なことが多くありました。学ぶことの多さや訓練の厳しさ、寮での集団生活はしつかりやっつけていけるのだろうか、半年後には現場で仕事ができる消防士になつていけるのだろうか、目標としている救急救命士に近づけるのだろうか、と思っただけです。

しかし、一ヶ月が経過した今思うことは、「早く一人前になりたい」ということです。このように思ったのは、四月二四日の実務研修に参加して、実際に働く所属消防署で一日の仕事をするのがまだ多いと感じました。

たくさん先輩方の仕事ぶりや訓練の様子を見て、半年後、この中で一緒に仕事をするのを自覚し、自分に必要なことがまだまだ多いと感じました。

一ヶ月を振り返ると、消防士の仕事の厳しさや責任の重さを改めて強く感じました。これからは今まで以上に食欲に訓練や座学に取り組み、現場経験のある仲間から学ぶなど、周囲の指導に謙虚な姿勢で臨みます。残りの五ヶ月間で市民の安全安心を守る消防士を目指し、常に目標を持って頑張っていきたいと思います。



木立 さくら
(大館市消防本部)

入校初日、不安と緊張で今後の生活が心配でしたが、今はとても充実した日々を送れていると感じます。

この一ヶ月間は訓練儀式に苦労しました。一人のミスが全体に影響するため、とても緊張します。

歩調と歩幅を合わせることや、機敏な動き、前方直視、指先など、様々なことに気を配らなければならぬため、これからも意識を高めていきます。また、座学や訓練では予習と復習をしつかり行い、重要な点をまとめることを継続していきます。

まだ一ヶ月と思っていると、あっという間に半年が経ってしまいました。そのため、一日一日を大切に、消防について学べることに感謝して過ごしたいと思います。

今はコロナウイルスの影響で、六人全員での行動が出来ていない状態です。食事や一歩と二歩に分かれて食べます。その分協力して準備したり、お互い気を配って行動する姿が多く見られています。

いつ普通に戻るかは分かりませんが、全員の良いところは変えずに、七四期の新しい長所を作り出していきます。

そして、残り五ヶ月は、仲間と多くのことを吸収していきたいです。



仙北谷 将平
(横手市消防本部)

入校して一週間はとても長く感じたけれど、その後はあつという間の一ヶ月だった。

この間、訓練儀式に多くの時間取り組んできた。しかし、通常点検で、まだまだ教官に指摘されることが多く、昨年の校長査閲の動画も見たけれど、その規律には程遠いと思った。時間が経てばできるようになるということはなく、節度を意識し全員が取り組まないといけない。

訓練では先に体力錬成を実施する。少しずつ体力がついてきている。少しづつ体力があつた。

放課後に仲間と筋力トレーニングをすることで、徐々に筋力もついてきたと思う。スタミナには、まだ自信がない。

この一ヶ月、筋力トレーニングはできていたけれど、ランメニューはあまりできなかったと思う。

運動後にはストレッチをして、体のケアを忘れずにできた。

座学では、授業のポイントを聞き逃さずメモできた。消防法のテストは、しっかりと勉強して臨めた。

勉強すればした分だけ書けるので、これからのテストもしっかり対策したいと思う。



後藤 敬吾
(能代山本広域市町
村組合消防本部)

この一ヶ月間、消防法や消防組織法などの座学、小型ポンプ操法、体力錬成などに取り組みました。

特に私がこれからも継続し、習熟したいことは二つあります。

一つ目は座学の予習復習です。

消防学校では消防法や消防組織法などを勉強しますが、特に消防法では所属機関で行われる立ち入り検査に関係する第四条などを学ぶことができます。

これらの知識は消防人として必要なものなので、これからも予習復習を継続していきたいです。

二つ目は体力錬成です。

消火活動、人命救助などの現場での長時間活動には体力が必要不可欠です。これからの学校生活では、訓練内での腕立て伏せ、腹筋などの体力錬成だけでなく、放課後もランニングを毎日行い、消防士として大切な体力を形成していきたいです。

この一ヶ月間、勉強、訓練共に全力で取り組むことができたと感じています。

残りの五ヶ月間、一人前の警防職員になれるよう頑張っていきたいです。



古仲 公平
(男鹿地区消防一部
事務組合消防本部)

四月はずっと不安で眠れないこともありましたが、なんとか一ヶ月過ごすことができました。

最初は訓練礼式がほとんど立ちっぱなしで辛かったです。指揮者の言うことに対し、間違っただけで済むこともありました。次に何を言われるか先に読むことで克服できました。最初の体力測定でも持久走でペースを間違えとても辛かったです。

夜の体力錬成で練習して、タイムを縮めることができました。

その後座学が始まり、色々な科目を学びました。科目が多く一日の自習時間ではまともできませんが、土日を利用して復習しました。

どの科目で何をしたかまとめることで頭に入れていきました。

実技ではロープ結索が始まり、一度に複数の結び方を学び、覚えきれませんでした。それでも夜の体力錬成の時間を使い、頭の中で整理し覚えることができました。

四月後半に風邪で自宅療養が続きました。戻ってきた時、多くの人が心配してくれ、部屋の仲間も自分がない間色々やってくれていて仲間の大切さを実感しました。五月からもついでいけるように、仲間と協力しながら乗り越えていきたいです。



柴田 英寿
(湯沢雄勝広域市町
村組合消防本部)

一ヶ月が経過しました。過ぎてみると、あつという間の一ヶ月でした。

最初は、洗濯や掃除、リネンの管理など、生活するうえでの基本です。難しく感じていました。

訓練で錬成は今でもとても辛いですが、入寮当初に比べると筋力も走力も成長してきているのを実感できます。

とはいえ、まだまだ消防士としては体力も技術も足りないし、人格的にも未熟な部分があります。

これからの訓練や授業は、もっと難しく辛くなると思います。そして教わることは全て現場での活動に活かしてやるものだと思います。

一つ一つの技術を少しも忘れないように毎日の訓練に臨みたいですね。

これからの五ヶ月間は、この一ヶ月と同じようにあつという間に過ぎると思います。一日一日を大切に過ごさなくてはなりません。

コロナウイルスで今後どうなってしまうのか、全く想像できません。しかし、この悪い流れに負けず、強い七四期を貫きたいと思います。

そのためには学生同士協力し合い、絆を深め、今ある課題一つ一つにしっかりと向き合っていきたいです。

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880
FAX (0182) (32) 0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検
トーハツポンプ | キンバイホース
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目)

トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
消火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183) (42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183) (73)2588

支部情報アラカルト

新型コロナウイルスの影響により、当支部でも訓練や行事の中止が相次ぎ、県外への旅行などは依然として自粛が求められています。

そこで今回は、大館市消防本部に在籍する県外出身の消防士2名にふるさと自慢をしてもらいました。



消防総務課 主査 藤原 章人

私の出身は岐阜県高山市で、高校進学時に父の実家である大館市に来ました。

岐阜県は本州の中心に位置しており、高山市は飛騨山脈の麓に位置する盆地です。

小さい頃から親に連れられて御嶽山、乗鞍岳、笠ヶ岳などに登りました。山頂から見る御来光は、今でも忘れられません。

他にも飛騨牛や合掌造り、古い街並みが有名で小京都と呼ばれています。

町の至る所にみたらし団子屋があり、住んでいた頃は、一本50〜60円くらいで売っていました。店の前を通ると、醤油の焦げた美味しい香りがしてきたのを思い出します。ぜひ一度訪れてみてください。感動間違いなしです！



警防課 主任 内田 巨弘

私の出身は三重県尾鷲市です。結婚を機に、妻の実家がある大館市に来ました。

三重県は東海地方にあたり、尾鷲市は県南部に位置する海と山に囲まれた小さな町です。

大館市と比較すると、5分の1程度の広さしかありません。世界遺産、熊野古道の伊勢路が通っており、小学生の頃から山登りや遠足などで散策してきました。

また、雪も降らず温暖なため、小さい頃から春夏秋冬その時々魚を釣って楽しんでいました。

大館市に移り住んで早9年。冬は寒いですが、妻を始め心が温かい人が多く、日本酒や比内地鶏を代表とする美味しいものが沢山あり、第二の故郷に満足しています。

今後も市民のために人命救助、救急救命に尽力したいと思います。

岐阜・三重近隣図



(情報提供) 大館北秋田支部

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和2年		令和元年			同期比較	
	5月	累計	5月	累計	年計	5月	累計
建物	13	66	23	80	198	-10	-14
林野	5	17	13	25	32	-8	-8
車輛	1	8	4	11	31	-3	-3
その他	9	40	28	61	95	-19	-21
合計	28	131	68	177	356	-40	-46
死者数	1	4	4	11	18	-3	-7
負傷者数	6	18	3	35	85	3	-17

消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

モリタ消防ポンプ シパウラポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651